

## 高齢者・障がい者など、弱者置き去りでの強行

# マイナンバーカード 一体化による 保険証廃止撤回の訴え

多数のミスや  
トラブル続きの  
マイナンバー

マイナンバーと健康保

険証の一体化、保険証の廃止によるマイナンバーの強制化、そしてマイナンバーの利用範囲を拡大するためのマイナンバー法案等が、通常国会で強行可決されました。

マイナンバーカードに一体化された健康保険証の情報も他人のものであったケースが全国で7300件余り確認され（NHKオンラインより）、また、国の給付金などの振り込み先に想定されている公金受取口座も別人のマイナンバーにつながるなど、マイナンバーには多数のミスやトラブルが起こっています。

高齢者・障がい者など、弱者置き去りでの強行に、医療・介護の現場でも多くの不安や怒りの声が上がっています。

申請の証明を  
ケアマネが？

昨年、ケアマネジャーのもとに利用者家族より、マイナンバーカードの受け取りにつき、証明書記載の依頼がありました。市長宛の「個人番号カード顔写真証明書」には、ケアマネジャーが個人番号カード交付申請者が、貼付した写真の

者と同人物であることを証明すると記載があり、受取の証明書に使用できることになっていま

す。マイナンバーは各種保険や預貯金口座、個人の財産面と共用の扱いとなると認識しています。こんな大切な情報の取り扱いを、行政ができないからといって、家族でもないケアマネジャーに委託していいのでしょうか。

現在の保険証も継続するか、リスクの少ない管理方法を

老人保健施設では、入所者が医療機関受診の必要が生じたときのために、健康保険証のコピーをお預かりします（施錠して保管しています）。

保険証が廃止され、マイナンバーカードに保険証の情報が結び付けられると、介護施設では必要のない重要な情報までお預かりすることになります。本来であればマイナンバーカードは、ご家族など身内の方に管理していただくのが適当ですが、一人暮らしや認知症の方もおられます。健康保険証の機能をマイナンバーに結び付けるのであれば、現在の保険証も継続するか、リスクの少ない管理方法ができるように配慮してほしいと思います。

## 子ども食堂で衛生指導

食中毒を防ぐために

健康友の会みみはらから、「食中毒の危険も高まる時期になってきたので、職員に衛生指導と気になる点を指導して欲しい」と依頼があり、5月22日に、子ども食堂のお弁当調理の現場に伺いました。

まず調理施設の衛生管理マニュアルに準じて、調理前の検温、手洗いの仕方、帽子・手袋・マスク装着をチェックしましたが、みなさん正しくで

きていました。また、加熱調理食品については、中心部まで十分に加熱し、食中毒菌などを死滅させることが必要ですので、食肉などの中心温度測定はタイミン

グや、測定方法についてチェックし、正しい方法をみんなで再確認しました。調理終了後、手を洗ったタイミングはいつか？手洗いは何のためにする

のか？手袋はいつ着けていつ外したか？など、みなさんに振り返ってもらいました。そのあと、栄養士から食中毒についてお話ししました。食中毒予防の三原則である、細菌やウイルスを①つけない②増やさない③やっつける、そして、持ち込まない、について学習しました。

参加者から「食中毒は怖いね」「手袋は最初はしていたけど、揚げ物の時は溶けそうだから外した」「保存食※」のことは気になっていた」「ここでも始めましょう！」など多くの感想や意見がありました。



今回の栄養士訪問が、参加した皆さんにとって食中毒の予防に役立つ機会に繋がってくれることを願っています。  
(管理栄養士 梁 晶子)

\*保存食：食中毒などの異常が生じた際に、原因究明のために使われるもの

## 正しい歯磨きを覚えよう！

歯科衛生士が歯磨き指導

5月24日に、健康友の会鳳支部の「寺子屋ちぐさ」に歯科衛生士がお邪魔し、正しい歯磨きの仕方指導を行いました。内容は、磨き方・歯に関するクイズ・歯にとって大切なことで、小学生の子どもたち9人が参加してくれました。

歯ブラシを正しく持つことで、力をコントロールできること、同じところを何度も磨かないと汚れが落ちないことを指導しました。

## 地域で輝く専門職

指導後の質問では、「なぜ、歯磨きは朝・夜と必要なのか」「歯ブラシは大きい方がよく磨けるのか」などが出され、夜は唾液量が少なくなり、むし菌が増えてむし歯になりやすいこと、奥歯を磨くためには小さい歯ブラシを使った方がきれいに汚れが取れることを伝えました。

クイズでは、犬と猫どちらのほうの歯が多い？歯のない動物はどれ？といった身近に感じる問題

や、簡単な〇×クイズなどを行い、目をキラキラさせて笑顔で元よく答えられて、楽しい時間になりました。

「寺子屋ちぐさ」のように、学校が終わってから子どもだけで家で過ごすのではなく、子どもたち



クイズ形式で歯磨き指導

ちが自由に学習でき、勉強をみてくれる大人がいて、軽食を食べながらいろんな人と交流できる場があることは、とても良いことだと感じました。預ける親にとっても子どもにとっても安心して過ごせる場所だと思えました。

そして、歯磨き指導を終えた後は、子どもたちの元気に圧倒されながら、美味しいご飯をみんなで食べ、とても楽しく過ごしました。

（耳原歯科診療所  
歯科衛生士 大和 円  
鎌田 美羽）